

災害救援ボランティア推進委員会の設立

平成7年（1995年）に阪神・淡路大震災が発生し甚大な被害がでた。この災害を契機とし、財団は社会貢献活動に取り組むため、平成7年7月に災害救援ボランティア推進委員会を設立し、代表に石原信雄が就任した。

同会の目的は大規模災害に備え、災害ボランティアリーダーを養成することにあつた。平成23年（2011年）3月11日の東日本大震災では、養成された災害ボランティアリーダーが活躍する等、活動の先駆性が証明された。

